

日本の主導でアフリカ諸国の首脳らが一堂に会し、経済協力や相互交流などを話し合う「第5回アフリカ開発会議（TICAD V）」が1～3日、横浜市のみなとみらい（MM）21地区にあるパシフィコ横浜で開かれる。アフリカの参加国は約50カ国に上り、同地区周辺では各国関係者の姿が目立つ。市はホストシティとして約1年前から関連事業を展開し、会議成功に向けた雰囲気の高まりに努めてきた。（小野晋史）

アフリカ開発会議きょう開幕

横浜市 成功へ準備万端

■料理や製品通じて

集まった市議や傍聴人から大きな拍手が送られた。

会議が始まる前日の31日、ベナン共和国のルフィン・ゾマホン駐日特命全権大使が市議会議棟を訪れた。悪天候で飛行機の到着が遅れた同国のボン・ヤイ大統領に代わり、本会議場で登壇。「横浜市民の皆さまにアフリカへの関心を深めていただきたいという思いに、私たちアフリカ諸国がどれだけ熱心であるかを伝えたい」と大統領からのメッセージを代読すると、

「横浜市民の皆さまにアフリカへの関心を深めていただきたいという思いに、私たちアフリカ諸国がどれだけ熱心であるかを伝えたい」と大統領からのメッセージを代読すると、



第5回アフリカ開発会議に合わせて開かれている「アフリカン・フェア2013」＝31日、横浜市西区

元首であるジョイス・バンダ大統領が「意思決定に女性を参加させないと、アフリカの国は前進できない。ジェンダーやDV（ドメスティックバイオレンス）に苦しむ女性がいる限り、

元首であるジョイス・バンダ大統領が「意思決定に女性を参加させないと、アフリカの国は前進できない。ジェンダーやDV（ドメスティックバイオレンス）に苦しむ女性がいる限り、



歓迎レセプションで乾杯をする（左から）MISAさん、キム世界銀行総裁、クラーク国連開発計画（UNDP）総裁、ハイレマリアム・エチオピア首相、安倍晋三首相、林文子市長
31日午後7時半、横浜市西区（代表撮影）

私は休まない」と演説した。シンボジウムの成果は、2日に男女平等や女性の活力を生かしたアフリカ開発をテーマとした会議の会合で、林市長が報告する。

■最高のおもてなし

市は昨年1月に会議開催が決まってから「おもてなしする」「身近に感じる」「ともに成長する」の3つを柱として、市内各地で関連事業を展開してきた。今年4月には会議に合わせ、よこはま動物園ズーラシア（旭区）でアフリカのサバンナに生息する動物を集めた新エリアを一部先行オープン。このほか市内企業のアフリカ進出に関するビジネスセミナーも開催してきた。

安倍晋三首相は31日夜、アフリカ開発会議の開幕を前に、横浜市内のホテルで開かれた歓迎レセプションであいさつし、アフリカとの経済関係を一層強化していく考えを示した。

首相は東日本大震災の際に アフリカ諸国から支援を受け たことに謝意を表明した上で 「日本経済全体の活性化を通じて復興を加速させる」と述べた。レセプションは首相と林文子市長の共催で、アフリカ各国の首脳級や国際機関の関係者ら約1200人が招かれた。

また、市教育委員会は、市立小中学校69校が参加した「一校一運動」を実施。各学校がアフリカの国を一つ選び、その国の文化や歴史、生活について学んだり、大使館関係者らと交流するなどしてきた。

林市長は会議直前の会見で「最高のおもてなしができるように、オール横浜で警備も含めた万全な準備態勢を整えている」と意気込みを見せた。